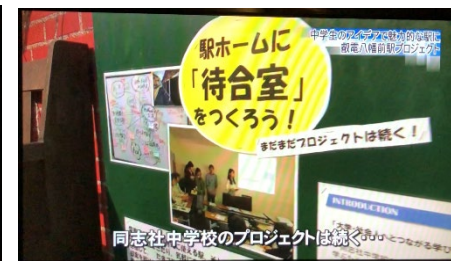
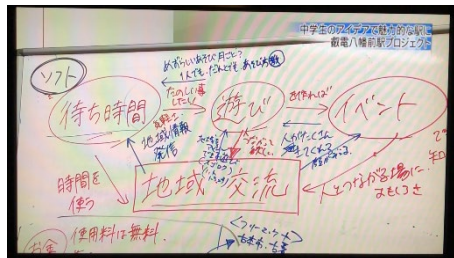


素敵なお駅をつくる産学協同「八幡前駅プロジェクト」

同中生の活動が、KBS京都テレビで紹介されました！

KBS京都テレビ 2018年7月23日 夕方のニュース番組「newsフェイス」にて



中学生時代から社会・地域・企業とつながる学びを経験する取り組みとして、叡山電車との産学協同「八幡前駅プロジェクト」があります。本校最寄駅の一つである叡電八幡前駅を、活気を取り戻した素敵なお駅にしたい。そうテーマを掲げて、これまで7年間8回のメンバーチェンジを経て、有志の生徒たちと叡山電車の社員の方々、そして地域の方々との連携をしながら、「駅ホーム手すりの塗装」「クリスマスイルミネーション」「駅の全面改装」「マスコットキャラクター“ハト駅長”の開発」「旧チャペルの寄贈」「パン屋さんとのコラボ商品“こいくるパン”開発」など数多くの企画を実現し、駅づくりのムーブメントを起こしてきました。現在は『“ココアツ”な八幡前駅(心が熱くなる/ココにあつまる)』をコンセプトに、駅が地域交流を生む場所となることを目指して「駅ホームに待合室をつくる」ことを提案する活動を継続しています。

今回、2013年のプロジェクト発足当時から、活動を継続取材して下さっていたKBS京都テレビさんが、特集として番組を制作して下さり、活動の様子を放映して下さいましたのでご紹介いたします。

PBL(Problem / Project Based Learning)やアントレプレナーシップ教育も注目される今、京都の街に根差した本プロジェクトは、中学生自らが主体的に活動するスタイルを重視した運営を基本に、実社会や企業とコラボレーションする産学協同を実践しながら、未来のイノベーターを育てる学びを創り出しています。

ますます注目を集める「八幡前駅プロジェクト」。今後の活動にもぜひご注目ください。